

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成29年11月8日

【四半期会計期間】 第21期第3四半期(自平成29年7月1日至平成29年9月30日)

【会社名】 ガンホー・オンライン・エンターテイメント株式会社

【英訳名】 GungHo Online Entertainment, Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長CEO 森 下 一 喜

【本店の所在の場所】 東京都千代田区丸の内一丁目11番1号

【電話番号】 03 - 6895 - 1650

【事務連絡者氏名】 取締役CFO財務経理本部長 坂 井 一 也

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区丸の内一丁目11番1号

【電話番号】 03 - 6895 - 1650

【事務連絡者氏名】 取締役CFO財務経理本部長 坂 井 一 也

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第20期 第3四半期 連結累計期間	第21期 第3四半期 連結累計期間	第20期
会計期間	自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日	自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日	自 平成28年1月1日 至 平成28年12月31日
売上高 (百万円)	87,414	69,996	112,457
経常利益 (百万円)	36,106	28,132	46,081
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円)	23,166	17,939	27,911
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	22,653	18,312	27,567
純資産額 (百万円)	36,013	57,420	40,984
総資産額 (百万円)	45,315	66,355	55,032
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	25.24	25.22	32.24
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	25.22	25.15	32.20
自己資本比率 (%)	75.1	82.5	70.6

回次	第20期 第3四半期 連結会計期間	第21期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日	自 平成29年7月1日 至 平成29年9月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	7.61	8.30

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1)業績の状況

日本におけるスマートフォンゲーム市場は、スマートフォンの普及拡大に伴って成長し、平成29年には9,600億円（出典：株式会社矢野経済研究所）になるとの予測もありますが、その成長速度はこれまでと比べ緩やかになり、安定的に推移しております。

一方で、日本における家庭用ゲーム市場は緩やかな減少を続けてまいりましたが、新型ゲーム機等、新しいゲームの楽しみ方や技術が提案され、平成29年上半年期の国内家庭用ゲーム市場規模は5年ぶりにプラス（出典：「ファミ通」2017年度上半期国内家庭用ゲーム市場規模速報）に転じるなど、ゲーム市場拡大の兆しも見えてきております。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、主力ゲームである「パズル&ドラゴンズ（以下「パズドラ」）」の売上高が減少したことから、対前年同期比で減収となりました。このような状況の中、当社では「新規価値の創造」に向け、グローバル配信を前提とした新作ゲームの開発及び既存ゲームのMAU（Monthly Active User：月に1回以上ゲームにログインしている利用者）の維持・拡大に向けた取り組みに注力してまいりました。

「パズドラ」においては、引き続き長期的にお楽しみいただくことを主眼に、新ダンジョン等の追加やゲーム内容の改善、他社有名キャラクターとのコラボレーションなど、継続的にアップデート及びイベントを実施してまいりました。その結果、国内においては平成29年7月に4,600万ダウンロードを突破し、北米においては平成29年9月に1,200万ダウンロードを突破しております。また、「パズドラレーダー」においては、平成29年8月に500万ダウンロードを突破し、平成29年10月にはプレイヤー同士がオンラインで対戦することができる「対戦モード」を実装することで、「パズドラ」に新たな遊びを提供いたしました。

スマートフォン向けパネルRPG「ディバインゲート」においては、平成29年9月に新たなストーリーが始まった「ディバインゲート零」のサービスを開始いたしました。

プレイステーション®4向けオンラインアクションゲーム「LET IT DIE（レット イット ダイ）」においては、他社ゲームとのコラボレーションや新キャラクター・アイテム等の実装、遊びやすさの改善、プロモーションでは動画の配信や平成29年9月に開催された「東京ゲームショウ2017」への出展など、世界規模でユーザー層の拡大及び継続的にのお楽しみいただくための取り組みを継続してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は69,996百万円（前年同期比19.9%減）、営業利益28,175百万円（前年同期比22.9%減）、経常利益28,132百万円（前年同期比22.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益17,939百万円（前年同期比22.6%減）となりました。

なお、当社グループは単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けて記載しておりません。

(2)財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間における資産合計は、66,355百万円（前連結会計年度末比11,322百万円増加）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い現金及び預金が増加したことによります。

負債合計は、8,935百万円（前連結会計年度末比5,112百万円減少）となりました。これは主に、法人税等を支払った結果、未払法人税等が減少したことによります。

純資産合計は、57,420百万円（前連結会計年度末比16,435百万円増加）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が増加したことによります。

(3)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4)研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は514百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	3,212,000,000
計	3,212,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成29年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成29年11月8日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	952,103,160	952,103,160	東京証券取引所 市場第一部	(注) 1、2、3、4
計	952,103,160	952,103,160		

- (注) 1. 完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。
 2. 提出日現在、発行済株式のうち243,080,000株は、現物出資(関係会社株式1,999百万円)によるものであります。
 3. 単元株式数は100株であります。
 4. 提出日現在発行数には、平成29年11月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は、含まれておりません。

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成29年7月1日～ 平成29年9月30日		952,103,160		5,338		5,331

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成29年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式240,928,400		
完全議決権株式(その他)	普通株式 711,155,600	7,111,556	
単元未満株式	普通株式 19,160		
発行済株式総数	952,103,160		
総株主の議決権		7,111,556	

- (注) 1. 当第3四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成29年6月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。
2. 「単元未満株式」欄の株式数「普通株式19,160株」には、当社所有の単元未満自己保有株式38株が含まれております。

【自己株式等】

平成29年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) ガンホー・オンライン・エンターテイメント株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目11番1号	240,928,400		240,928,400	25.30
計		240,928,400		240,928,400	25.30

- (注) 1. 上記自己保有株式には、単元未満株式38株は含まれておりません。
2. 当第3四半期会計期間に新株予約権の行使に伴い自己株式の処分を行ったため、当第3四半期会計期間末の自己株式数は240,893,438株となっております。

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

役職の異動

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
取締役 CS本部長	取締役 システム・CS本部長	越智 政人	平成29年4月1日

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成29年7月1日から平成29年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成29年1月1日から平成29年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、PwCあらた有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,876	46,424
売掛金	9,063	8,870
有価証券	1,302	3,079
商品	4	7
仕掛品	82	141
繰延税金資産	517	130
その他	2,362	1,316
貸倒引当金	25	28
流動資産合計	47,183	59,940
固定資産		
有形固定資産合計	814	576
無形固定資産		
ソフトウェア	1,876	230
ソフトウェア仮勘定	433	876
その他	88	99
無形固定資産合計	2,397	1,205
投資その他の資産		
投資有価証券	349	336
繰延税金資産	1,116	1,397
その他	3,286	3,015
貸倒引当金	115	117
投資その他の資産合計	4,636	4,632
固定資産合計	7,848	6,414
資産合計	55,032	66,355

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	561	1,114
短期借入金	804	200
1年内返済予定の長期借入金	195	133
未払法人税等	6,948	2,656
賞与引当金	6	14
その他	4,306	3,426
流動負債合計	12,822	7,545
固定負債		
長期借入金	123	111
退職給付に係る負債	10	20
その他	1,091	1,257
固定負債合計	1,225	1,389
負債合計	14,047	8,935
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,338	5,338
資本剰余金	5,469	5,474
利益剰余金	108,346	124,151
自己株式	80,130	80,118
株主資本合計	39,023	54,845
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	164	89
その他の包括利益累計額合計	164	89
新株予約権	429	670
非支配株主持分	1,696	1,993
純資産合計	40,984	57,420
負債純資産合計	55,032	66,355

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
売上高	87,414	69,996
売上原価	29,949	25,294
売上総利益	57,465	44,702
販売費及び一般管理費	20,915	16,526
営業利益	36,549	28,175
営業外収益		
受取利息	47	41
その他	31	26
営業外収益合計	79	67
営業外費用		
支払利息	21	12
自己株式取得費用	53	
為替差損	432	90
その他	15	7
営業外費用合計	522	110
経常利益	36,106	28,132
特別損失		
減損損失	500	1,385
特別損失合計	500	1,385
税金等調整前四半期純利益	35,606	26,746
法人税、住民税及び事業税	12,503	8,421
法人税等調整額	12	106
法人税等合計	12,491	8,528
四半期純利益	23,114	18,218
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失()	51	279
親会社株主に帰属する四半期純利益	23,166	17,939

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	23,114	18,218
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	121	
為替換算調整勘定	339	93
その他の包括利益合計	460	93
四半期包括利益	22,653	18,312
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	22,818	18,013
非支配株主に係る四半期包括利益	164	298

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)
減価償却費	1,856百万円	1,004百万円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)

1. 配当金支払額

決議日	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成28年 2月2日 取締役会	普通株式	利益剰余金	4,317	4.50	平成27年 12月31日	平成28年 3月7日

(注) 1株当たり配当額の内訳は、普通配当3円00銭、記念配当1円50銭であります。

2. 株主資本の著しい変動

当社は、平成28年6月21日開催の取締役会決議に基づき、公開買付けにより主にソフトバンクグループ株式会社から自己株式248,300,000株（取得価額73,000百万円）を取得しております。

また、平成28年8月24日開催の取締役会決議に基づき、平成28年9月2日付で自己株式105,789,240株を消却しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が37,815百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が80,130百万円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)

1. 配当金支払額

決議日	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成29年 2月2日 取締役会	普通株式	利益剰余金	2,133	3.00	平成28年 12月31日	平成29年 3月7日

(注) 1株当たり配当額の内訳は、普通配当3円00銭であります。

2. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益	25円24銭	25円22銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	23,166	17,939
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(百万円)	23,166	17,939
普通株式の期中平均株式数(株)	917,789,321	711,182,543
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	25円22銭	25円15銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する 四半期純利益調整額(百万円)		
普通株式増加数(株)	754,178	2,074,344
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で前連 結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成29年11月8日

ガンホー・オンライン・エンターテイメント株式会社
取締役会 御中

P w C あらた有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 岸 信一 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 千代田 義央 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているガンホー・オンライン・エンターテイメント株式会社の平成29年1月1日から平成29年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成29年7月1日から平成29年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成29年1月1日から平成29年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ガンホー・オンライン・エンターテイメント株式会社及び連結子会社の平成29年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。